

シンポジウムのご案内

地域のエネルギー自立を目指して

日時：2013年2月24日（日）13:00～16:30

場所：中国新聞ビル7階702会議室

定員：60名（申込み先着順） 参加費：無料

13:00～13:10 ご挨拶

13:10～14:20 欧州地域のエネルギー自立運動

滝川 薫 氏（環境ジャーナリスト）

14:30～15:10 地域の、地域のための、再生可能エネルギーの普及について

大西 康史 氏（環境カウンセラー）

15:10～15:50 住宅の省エネルギーに対する取り組みについて

清田 誠良 氏（広島工業大学工学部教授）

16:00～16:30 総合討論

モデレーター：佐藤 高晴（広島大学大学院総合科学研究科）

日本では、再生可能エネルギーの普及は、誰もが望ましいことだという一方、将来的な課題だとの意見も多く聞かれます。しかし、ヨーロッパでは、90年代にいくつかの農村地帯で始まった、エネルギーを他に頼らないエネルギー自立の運動が、国のエネルギー政策を左右するまでになっています。ドイツでは、再生可能エネルギーの比率を、2030年までに30%、2050年までに60%との政府の目標値が明示され着実にその普及が進んでいます。シンポジウムでは、ヨーロッパの状況を紹介し、広島市でのエネルギー自立へ向けた、再生可能エネルギーの普及と省エネルギーの取り組みについての課題を検討します。

主催：広島大学大学院総合科学研究科，資源エネルギー研究プロジェクト

協力：広島連塾Sus☆テラス 後援：JIA 中国支部

参加希望の方は裏面の要領でお申し込み下さい。

詳細 & 申込み連絡先：広島大学大学院総合科学研究科 佐藤高晴

TEL：082-424-6520，E-mail：wpp@hiroshima-u.ac.jp

<プロフィール>

大西 康史（おおにし やすし）

環境カウンセラー、広島県環境保全アドバイザー、広島県環境学習推進専門講師。
1978年京都府生まれ。京都大学工学部卒、同大学院工学研究科修了（環境工学修士）。広島県職員（環境技術吏員）を経て、現在、広島連塾 Sus☆テラス事務局長、未来の子共同代表、環境首都創造 NGO 全国ネットワーク幹事、環境カウンセラーひろしま事務局等。ごみや地球温暖化、エネルギー、環境教育、環境まちづくりなどの講演や地域活動などを実施。著書に「環境首都コンテスト～地域から日本を変える7つの提案～」(学芸出版社・共著) など。

清田 誠良（きよた のぶよし）

福岡県出身 広島大学工学部建築学科 広島大学大学院工学研究科環境工学 博士課程専攻
現職 広島工業大学 工学部 建築工学科教授
所属学会 日本建築学会 空気調和衛生工学会 気象学会 日本ヒートアイランド学会
研究テーマ
市街地における高温化現象の緩和効果に関する研究
古民家に形成される温熱環境の形成メカニズムに関する研究
住宅の換気による空調負荷削減に関する研究

滝川 薫（たきがわ かおる）

環境ジャーナリスト、植栽設計士。MIT Energy Vision社共同代表。スイス、ベルン州在住。1975年千葉県生まれ。東京外国語大学イタリア語学科卒業後、スイスを拠点に環境・エネルギー・建築をテーマとした専門誌への寄稿の他、調査、視察セミナー、通訳・翻訳、講演活動を手掛ける。主著に「サステイナブル・スイス～未来志向のエネルギー、建築、交通」、編著に「欧州のエネルギー自立地域」(学芸出版社) など。

佐藤 高晴（さとう たかはる）

東京生まれ、大阪大学基礎工学部卒、同基礎工学研究科修了、1980年大阪大学工学博士学位取得。新潟大学工学部講師を経て、現在、広島大学総合科学研究科准教授。第46次南極観測隊越冬隊員。この間、第四紀の深海底堆積物を用いた古地磁気・古環境研究、ため池堆積物などを用いた環境汚染の研究、木質バイオマスの安全性の研究などを実施。また、1980以降、登山と環境保全に関わる活動に関わってきた。

なお、滝川薫さんを招いたシンポジウムは2月23日（土）に東広島市でも行います。

詳細は、<http://home.hiroshima-u.ac.jp/wpp/> をご覧下さい。

シンポジウム参加申込みは、 wpp@hiroshima-u.ac.jp または fax: 082-424-6520 まで、以下の事柄を書いてお申し込み下さい。

□氏名：

□所属：

□連絡先：tel

fax

e-mail

□（2月23日（土）、2月24日（日））参加される日に○を点けて下さい

□シンポジウムに関係する事柄で興味をお持ちの事柄がありましたらお書き下さい。

（

）